

若手構造デザイン発表会 開催報告

(一社) 日本建築構造技術者協会
若手部会 林 将利

1. はじめに

JSCA 若手部会では、若手技術者の技術力向上と成長のため、講演会や見学会等のイベントや組織を超えた技術者同士の交流会を実施する活動を行っている。

今回、「若手構造デザイン発表会」と題して、JSCA 構造デザイン発表会2024in 東北にて発表された40歳以下の若手設計者8名と新規発表者1名を加えた9名の方を発表者としてお招きし、様々な創意工夫を凝らした建築作品を発表して頂くイベントを企画した。

2. 「若手構造デザイン発表会」開催概要

初開催となる今回は、若手構造設計者のプレゼンテーションをきっかけに若手構造設計者同士の交流を深めることを目的とし、飲食を伴いながらカジュアルな雰囲気づくりを心掛けた。会場は隈設計室 東京設計室 共創拠点「Root (ルート)」をお借りし、発表者に対して会場からも気軽に質問等ができるよう、若手部会のメンバーが司会・コーディネーターを務めた。

発表会自体は3つのセッションに分けて、発表者は各セッション3名ずつとした。また、発表者はすべて異なる会社(所属)とし、アトリエ系・組織設計事務所系・ゼネコン系をバランスよく選定した。

当日は発表者の方々も含めて80名程度が参加した。

<日時>

2025年2月14日(金) 18:00~21:00

<スケジュール>

18:00~18:25 発表者PC接続テスト、お打合せ

18:25~18:30 注意事項および趣旨説明

18:30~19:00 ①木造セッション

(伊藤真太郎氏、田村純太郎氏、大澤弘明氏)

19:00~19:15 休憩・交流

19:15~19:45 ②大空間セッション

(森雄矢氏、谷口洵氏、安藤広隆氏)

19:45~20:00 休憩・交流

20:00~20:30 ③アイコンニックセッション

(府金春薫氏、吉村純哉氏、渡瀬誓氏)

20:30~21:00 交流 21時閉会

3. まとめ

若手構造デザイン発表会後、参加者へのアンケートを実施した。発表会の講演内容については9割以上の参加者が満足又はやや満足と回答しており、初回としては非常に良かったかと思う。また、同世代の構造設計者がどのようなことを考えながら設計しているかなどが聞けたことも良かったという意見が多数あり、参加者をあえて若手(概ね45歳以下)という括りにしたことで、狙い通りの会合になったかと思う。

開催頻度については、JSCA 構造デザイン発表会に合わせて年1回の開催を希望する意見が半数以上であった。また、良い作品があれば発表者として参加したいという意見も半数以上であった。

一方、若手同士の交流時間をもう少し多く確保してほしいという意見も多く、発表のみならずディスカッションの時間帯を設ける等、今後の開催における課題点も見つかった。今後の開催頻度に加えて、発表者の選定やタイムスケジュール等、改めて若手部会で議論できればと思う。

発表された建築作品は、40歳以下の若手構造設計者が苦慮しながらも粘り強く創意工夫を施した秀逸な作品ばかりであり、様々な角度から、時には若手ならではの話を聴くことができた。大変貴重で有意義な若手構造デザイン発表会であった。



写真 当日の会場の様子